

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	疾病死因分類適正化等調査費		担当部局庁	大臣官房統計情報部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度		担当課室	企画課国際分類情報管理室		室長 谷 伸悦	
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害及び死因分類を定める政令第3条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	1. WHOが勧告したICD(疾病及び関連保健問題の国際統計分類)の改訂・改正に関するWHO-FIC(世界保健機関国際統計分類群)ネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及。 2. WHOが勧告したICF(生活機能分類)の改訂・改正に関するWHO-FICネットワークによる国際的な寄与及び日本への適用と普及の検討。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 社会保障審議会統計分科会「疾病、傷害及び死因分類専門委員会」「生活機能分類専門委員会」の開催。 2. ICD及びICFの改訂・改正についての国際会議の開催、WHO-FICネットワークへの意見提出及び同ネットワークの国際会議(電話会議を含む)出席。 3. ICD並びにICF普及啓発本の刊行。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	18	23	21	37	53
		補正予算					
		繰越し等					
	計	18	23	21	37	53	
	執行額	17	12	21			
執行率(%)	94.4	52.2	102.9				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	この事業は、各種統計調査等に使用される国際統計分類の整備、普及を目的として実施するものであるため、成果目標を設定していない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	この事業は、各種統計調査等に使用される国際統計分類の整備、普及を目的として実施するものであるため、活動指標を設定していない。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
				-	-	-	(-)
単位当たりコスト	- (円 / -)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	3	2	資料翻訳費の増 電話会議経費の増			
	委員等旅費	0.8	0.8				
	印刷製本費	2	2				
	通信運搬費	0.5	0.5				
	会議費	0.06	0.06				
	借料及び損料	1	1				
	雑役務費	30	47				
	計	37	53				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	基幹統計である人口動態統計及び患者調査等に使用されており、ニーズは高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国際機関等との調整が不可欠であり、国が実施すべき事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については、会計法上認められている少額の随意契約である。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	必要最小限に限定されている。
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業目的を達成していることから、実効性は高いと考える。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	関係機関に配布され、十分に活用されている。
点検結果	<p>今後も、ICD及びICFの改訂・改正に関して、国内外の機関との調整を通し適切な意見提出を行っていくことで、国際的な寄与を果たしていくと共に、国内に向けて着実な普及活動を行っていく。また、各業務の実施にあたっては、今後も適正かつ効率的な予算の執行に努めるものとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業については、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>－</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p> </p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	4	平成23年行政事業レビュー	4

厚生労働省
21百万円

「疾病、傷害及び死因分類」の作成、ICD
並びにICFの普及・啓発



【A. 企画競争入札】
オスカー・ジャパン(株)
15百万円

【 翻訳業務 】

【B. 随意契約】
民間会社(9社)
6百万円

【 国際会議の開催業務・報告書の印刷、
速記代等 】

【C. 諸謝金】
委員(11名)
0.3百万円

【 厚生労働省本省における専門委員会
開催に係る経費 】

【D. 委員等旅費】
委員(5名)
0.1百万円

【 厚生労働省本省における専門委員会
開催に係る経費 】

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.オスカー・ジャパン(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	資料翻訳	15			
計		15	計		0
B.(株)アイ・アソシエート・ジャパン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	各種統計調査結果等の翻訳	0.9			
計		0.9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 民間会社(1社)【企画競争入札】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オスカー・ジャパン(株)	資料翻訳	15	1	99.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 民間会社(9社)【随意契約】

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アイ・アソシエート・ジャパン	各種統計調査結果等の翻訳	0.9	随意契約	
2	(株)ホンヤク社	海外文献等の翻訳	0.9	随意契約	
3	(株)サイマル・インターナショナル	内科TAG国際会議の同時通訳	0.9	随意契約	
4	統計印刷工業(株)	ICDのABC(平成24年度版)の印刷	0.9	随意契約	
5	国際連合大学	内科TAG国際会議の会議室	0.7	随意契約	
6	オスカー・ジャパン(株)	日本WHO-FIC協力センター会議の同時通訳	0.6	随意契約	
7	郵便事業株式会社	ICD解説書等発送費	0.4	随意契約	
8	大和総合印刷(株)	内科TAG国際会議の報告書、ICFシンポジウムの報告書 印刷	0.3	随意契約	
9	(株)東京国際フォーラム	日本WHO-FIC協力センター会議の会場	0.1	随意契約	
10	扶桑速記印刷(株)	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員会、企画書	0.08	随意契約	

C. 諸謝金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
2	個人B	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.04		
3	個人C	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
4	個人D	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
5	個人E	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
6	個人F	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
7	個人G	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.03		
8	個人H	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.02		
9	個人I	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.02		
10	個人J	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 諸謝金	0.02		

D. 委員等旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.06		
2	個人B	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.03		
3	個人C	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.03		
4	個人D	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.008		
5	個人E	社会保障審議会統計分科会ICD専門委員会、ICF専門委員 委員等旅費	0.004		
6					
7					
8					
9					
10					